



発行／津山市ごみゼロ新聞編集委員会

TEL/0868-22-8255

レジ袋って？

レジ袋の国内年間使用枚数は、300億枚（1人1日約1枚）とも言われています。しかし、レジ袋の原料は原油であり、国内の使用枚数は原油換算で約56万リットル（大型タンカー2隻分）に相当します。また、レジ袋は最終的にほとんどがごみとして廃棄されており、大阪市の調査では、重量比で家庭系プラスチック容器包装ごみの16.7%を占めています。

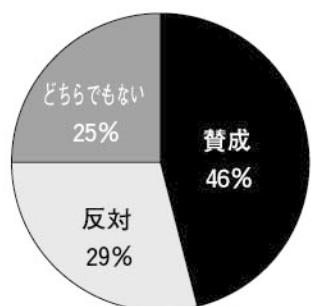
レジ袋削減の現状は？

1995年に制定された容器包装リサイクル法により、レジ袋はペットボトルやガラスびんなどと同様に、削減・再利用の対象となりました。

環境省が2007年3月に消費者と事業者を対象に実施したアンケート調査によると、①マイバックについては消費者の約6割が所有していてかなり普及していること、②レジ袋の有料化には約半数の消費者が賛成していること（図1）、③事業者の約4割がレジ袋の排出に関して目標を定め、約1割がレジ袋の有料化に取り組んでいることなどが明らかになりました。

レジ袋有料化の賛否

(図1)



レジ袋を断ることから始めるごみ減量!!

津山市では、これまで「つやま・エコ・システム」を実施するなどマイバッグ持参運動に取り組んできましたが、平成18年度のマイバッグ持参率は14.4%と全国の18%より低いのが現状です。

大量消費・大量廃棄というライフスタイルの転換が求められている今、買い物にはマイバッグを持参し不要なレジ袋を断りましょう。

レジ袋の大幅削減に取り組む事業者 募集中

市では、マイバッグ持参運動に協力し、レジ袋の無料配布をやめるなどレジ袋の大幅な削減に取り組む小売店などの事業者を募集しています。事業者と市民団体、市が協定を結び、事業者の取り組みを支援します。

詳しくは、市環境事業所 Tel.22-8255まで お問い合わせください。